

D X 活動紹介



Microsoft Teams

人の作業の見えるか 「作業日報を ピヨるっちゃ」

EIM 株式会社アイム製作所

ICT企画室 武内 喜一

自己紹介

武内 喜一
(たけうち よしかず 通称きいち)
昭和51年3月17日

小倉生まれ
(鍛冶町の産婦人科)
小倉育ち
(米町小・菊陵中校・小倉南)

国指定重要無形民俗文化財
小倉祇園太鼓
伝統芸能に携わる小倉男子
伝統継承は、二男一女がおります

平成中村座



会社概要

【設立】

1978年4月12日（昭和53年）

1948年同和商会（現ドーワテクノス）

1954年アイム電機工業

【本社】

北九州市八幡西区黒崎

【資本金】

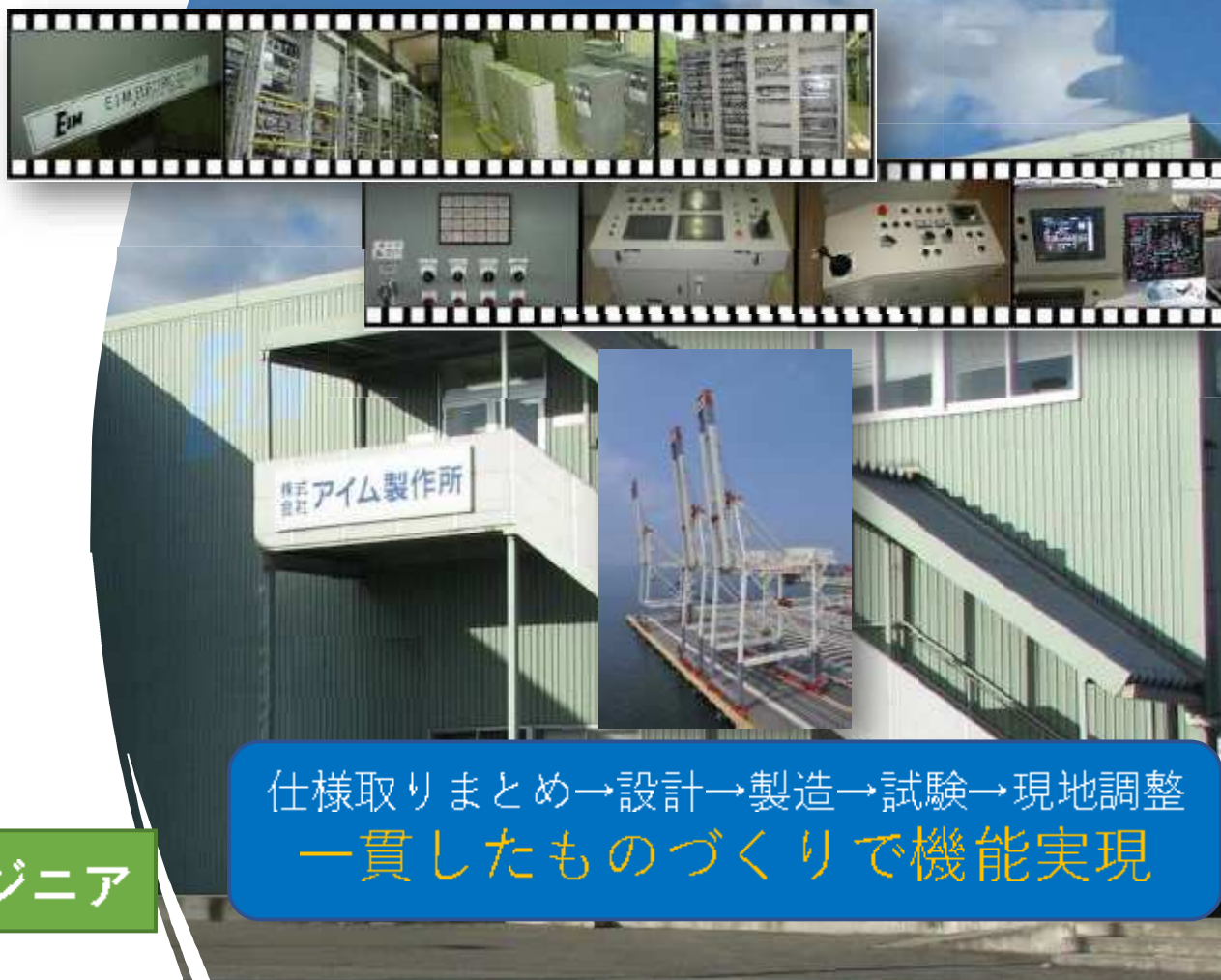
3000万円

【従業員数】

70名

スタッフの大半は **設計エンジニア**

事業内容： 制御盤・制御装置の製造



課題 2008～2020年

個々の情報は エクセル化など電子化はされているが・・・
それぞれのデータはうまく共有されず 活かしきれていない

★図面は、CAD化されているが、あと工程へのデータ連携はない (2008年)
CADを印刷して使用

★個人スケジュール、部門工程、受注工程
エクセル化されているが、前後工程への連携がない
工程管理情報の一元化がされていない (2010年台)
エクセルを印刷して使用

★他部門の進捗情報は 口コミ確認
メール化されているが、一元化されていない (2010年台)
メールを印刷して使用

ざんねんなデータ共有
エクセルの一人歩き

メールの孤軍奮闘

ペーパーが神ツール

電子化しても紙で動くリアル

課題 2021

ペーパーレス化を実行する中で作業日報に注目

★オーダーごとの作業工数の標準化ができていない（カン・コツ）

★工数入力精度の統一が難しく、実態の作業工数がつかめていない

★間接原価工数の把握ができていない（カン・コツ）

ペーパーレス化しても紙時代の志向で動くリアル

現状把握の実態は・・・できていなかったリアル

「DX推進活動 取り組み」

現状把握・事業実態把握

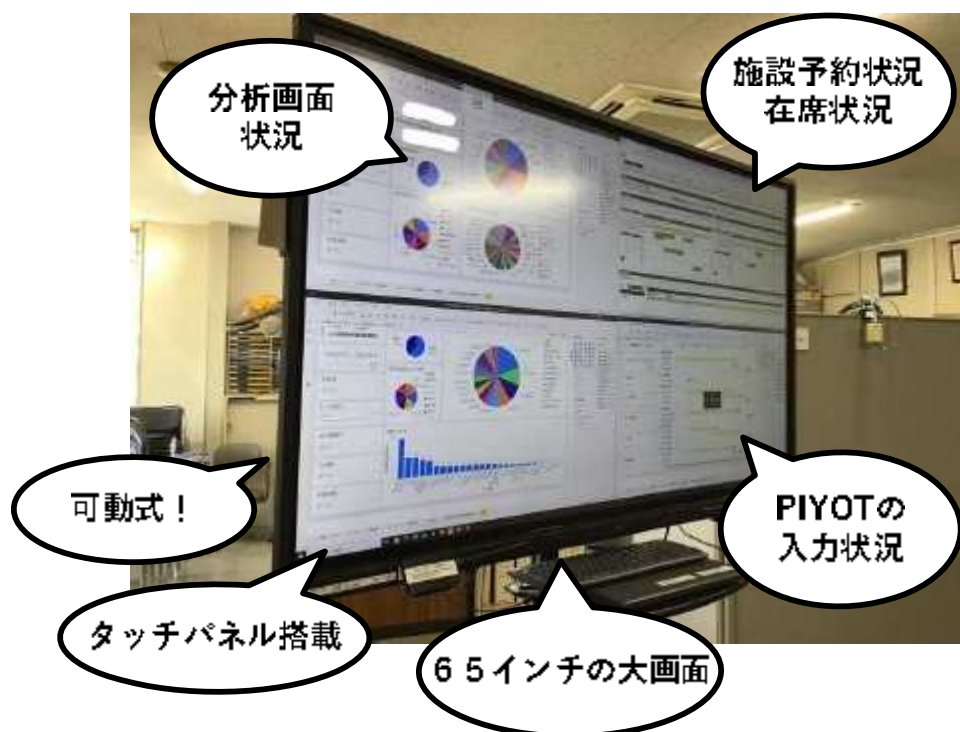
標準工数の把握

紙~~志~~向 → データ志向への転換

人にしかできないこと → 継承方法デジタル化

人でなくともできること → 完全デジタル化

チャット・デジタルサイネージで見える化



65インチの大画面サイネージを社内に設置



事務所 3 か所
工場 2 か所

(紙の廃止 → デジタルツールへの移行)



- ・日報ツール 実績報告
- ・BIツール 実績把握
- ・スケジューラ 情報共有 (グループウェア)
- ・ファイル共有ツール 共同作業

・チャットツール **EIM**株式会社アイム製作所
コムパル

全工程でPIYOTを導入



人・設備作業進捗のリアルタイム見える化システム

ハピクロ PIYOT

令和2年度

「北九州市中小ものづくり企業のDX推進成長支援モデル事業補助金」

制御盤製造工場の社内連携強化システム構築事業



設計製図



製造検査



現地試験

- ⇒スタッフ全員に PIYOT入力端末（スマートデバイス）支給
- ⇒スタッフ全員が PIYOTを入力中
- ⇒全工程にPIYOTを導入することで作業実績工数の見える化を実現

スタッフの大半は **設計エンジニア**



特に注力しているのは、人の作業の見える化

「見える化」 P I Y O T データ分析画面

個々役割によって見たい視点は1つでない



全社実績



特定作業解析 変更対応実績



実績 AI解析



個人別 実績ガントチャート



労働時間と実績 解析



部門単位 実績分析

「DX推進活動 ゴール」

